

医動物・種類同定検査結果（令和8年4月～6月）

種類同定検査は、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者等からの依頼を受けて実施しています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

令和8年4月から6月までの3か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類2件（ハエ目）でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 〈相談月〉	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
ベランダの窓の下や風呂場、洗濯機の排水口周辺に虫がみられる。 〈4月〉		ホシチョウバエ (ハエ目)	浄化槽、汚泥の溜まった下水溝など有機物の多い水域に広く発生する。幼虫は日中も活動するが、深夜に最も活発に活動する。成虫も夜間に活発に活動する。 成虫は一般的に 5～10 月にかけて出現する。
リビング内にハエが多数みられる。 〈6月〉		オオクロバエ (ハエ目)	幼虫はごみ、動物死体、便池などから発生する。本州の平地では成虫は春と秋に出現する。

【 検査研究課 微生物(ウイルス医動物)担当 】